

幸せの歌



7月30日 組合員親睦交流会風景

JA宗谷南

2015NEN
8GATUGOU
~SEASON43~

平成27年組合員親睦交流会



7月30日、組合員親睦交流会が開催され、午前中は例年通り三笠山パークゴルフ場で31名が汗を流しました。

前日より雨の心配もありましたが、天気にも恵まれ普段なかなか交流のない関係機関の方々と、組合員とがパークゴルフを通じて交流致しました。

今年は力戦奮闘の末、男性の部でJA宗谷南の平田監事、女性の部では山田地区の中野洋子さんが優勝されました。しかし皆さん僅差で物凄い死闘が繰り広げられていた中、笑いもあり楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

パークゴルフ終了後は、酪農振興センターへ移動して他の参加者と合流し、焼肉を囲みながら交流を深めました。

およそ130名の方が交流会に参加され、焼肉はもちろんビールにジュース・アイスクリームなどを楽しみました。

パークゴルフの順位発表後、ビンゴ大会が行われ、一番にビンゴになった方には、ペア宿泊券が当たるという事で会場は大盛り上がりになり、ペア宿泊券が当たったのは、宗谷農業改良普及センターの戸叶地域係長でした。おめでとうございます。

また、交流会の途中で雨にあたる場面もありましたが、無事盛大の内に終了しました。また来年、多くの方がご参加下さることを心よりご期待申し上げます。



女性の部優勝の中野洋子さん



男性の部優勝の平田監事



組合長代行の辻理事による開会挨拶



ビンゴ景品争奪戦



JA北海道中央会旭川支所
中島支所長の乾杯の挨拶



ホクレン稚内支所
石黒支所長による開会挨拶



第2回枝幸町新規就農者誘致促進セミナー

8月18日

- ・基調講演：「新規就農による地域活性化について」 JA浜中町 石橋 榮紀 組合長
- ・講演：「酪農の動向と新規就農の促進」 酪農学園大学 循環農学類 吉野 彦彦 教授
- ・講演：「つながりを育てる新規参入者」 北海道大学大学院農学研究院 小林 国之 助教
- ・講演：「国が北海道酪農に期待するもの」 農林水産省 顧問 原田 英男 氏
- ・パネルディスカッション

8月19日

- ・講演：「新規就農希望者は大規模酪農でなく放牧小頭数を希求」 帯広畜産大学 瀬尾 哲也 講師
- ・枝幸町の新規就農者への支援体制 枝幸町役場 農林課 高橋 宗介 主査
- ・JA宗谷南の研修制度 JA宗谷南 営農部 営農課 加藤 徹 課長
- ・新規就農者報告
報告者「筒井 奈美 氏」「廣川 拓也 氏」
- ・パネルディスカッション
- ・牧場視察(筒井牧場・廣川牧場)
- ・終了



8月18日、19日の2日間、第2回枝幸町新規就農者誘致促進セミナーを開催し、町内酪農家、道内大学生や新規就農希望者、関係機関を含むおよそ150名が歌登フォレストピアホールに参集されました。

枝幸町農業推進連絡協議会新規就農者誘致促進部会部長である向井地組合長は、多忙の中ご講演頂く講師の方々にお礼を述べ、現状の農業情勢にふれ、世界の食糧事情と食糧の必要性を踏まえ農業者が如何に必要か、そして農業者の食糧生産に対する責務などの話があり、酪農に関わらず農業をやりたい方を応援しますので、誇りとプライドを持って農業を営営してほしいと開会の挨拶により始まりました。

続いて、今回の基調講演者である、JA浜中町石橋組合長による「新規就農者による地域活性化について」ご講演頂きました。

石橋組合長は、「過去農業者に対する支援や助成また、農協職員の教育は盛んに行われてきましたが、農業者の教育というのは行われてこなかった、そこでJA浜中町



JA浜中町 石橋組合長

では、実践農業教育として農業経営の教育を行うべく、酪農技術センターや研修牧場を設立してきた。現在までに研修牧場の卒業生は18戸になるが、今は酪農ヘルパーから新規就農される方が多いので、後継者教育講座なども開催しており、いかに人材育成が大事かを訴え、新規就農者が参入する事によって人口増が期待できる他、新しい風が吹くこともあり、レストランを開業する者もいれば、チーズ工房を立ち上げたり、お祭りの仕掛け人になったりと地域活性化につながっていると、JA浜中町の取り組みをご紹介頂きました。

酪農学園大学の吉野教授からは、「酪農の動向と新規就農の促進」についてご講演頂きました。

酪農の動向として、他の農業と比べて平均値でいえば、「労働時間の増加、借入金の増加、収益性の低下」が続いています。所得の格差が大きい産業でもあり、収益が多い牧場は多い、少ない牧場は極端に少ないという現状を踏まえ、収益性の格差を、放牧、フリーストール、繋ぎ飼いで差があるかを調べたところ、どの飼養形態でも収

益性の格差は同じようにある事が分かったので、所得の格差は何が原因なのかを調査した所、多くは必要外の経費が出ていることにあり、それは、飼養形態に関係がなく酪農ではそういう傾向にある事を報告されました。

また、新規就農の傾向では、新規参入者よりもUターン就農者が増加傾向にあり、大学内の調査でも酪農家の後継者が大学卒業後は一時就職してその後就農するという予定者が多く、就職先は農協を希望する方が多いようです。理由としては、農業に関する知識や経験を得たいため、そして、新規就農促進の課題として、「農家子弟のUターンの追及」「低コストの営農モデルの普及」「教育機関と農協・行政の連携」をあげ講演を終了しました。

北海道大学の小林助教からは、「つながりがそだてる新規参入者」と題してご講演頂きました。

小林助教と帯広畜産大学の瀬尾講師は昨年の本セミナーでもご講演頂いております。

新規就農の近況としては、野菜と酪農が圧倒的に多く、全国的にも誘致合戦が続いており、その中でも女性の新規就農希望者が増えてきている。

また、地域の受け入れの目的は、労働力の確保、担い手の確保、地域住民の確保、鏡機能(新規就農者を受け入れることによって、自分たちの魅力を再発見する事)、集落の維持、新たな集落機能などがあげられ、特に地方では、人口の減少が著しく進むであろうと予測されていく中、地域の人口を守っていくひとつの手段として、酪農や酪農ヘルパーという職業があってもいいと話されました。

また、酪農の新規就農者が集まる地域としては「研修牧場・資金的支援策が充実した地域」「新規就農が沢山いる地域」があげられ、新規就農の成功例の蓄積と、地域としての受け入れ姿勢を明確化していることが大切であると同時に地域の合意形成も同様に大切であり、新規就農者に対して、地域のサポートが必要不可欠である事を講演頂きました。



酪農学園大学 吉野教授



北海道大学 小林助教

続いて、農林水産省顧問の原田英男氏からは、「国が北海道酪農に期待するもの」と題してご講演頂きました。

講演の中では、都府県の酪農の衰退と、バター不足を踏まえたうえで、北海道酪農に対しては、生産量の増産と都府県にない酪農、特に低コスト酪農の確立をあげ、自給飼料に力を入れてコストのかららない酪農を目指してほしいと話され、新規就農希望者やセミナーに参加された、若い世代に対しては、色々な地域を見て決めるのもいいが、何より決断して飛び込んでみたほうが良いと激励し講演を終りました。

続いて、講師の方々と向井地組合長・新規就農者誘致促進部会の石田幸也さんを交え、パネルディスカッションを行いました。

セミナー終了後はバーベキューや若手酪農家との交流や情報交換を行い、1日目が終了しました。



パネルディスカッションの風景



若手酪農家との交流会の様子



バーベキューの様子



農林水産省 原田顧問

2日目は帯広畜産大学、瀬尾講師による「新規就農希望者は大規模酪農でなく放牧小頭数を希求」と題して、知人や農業人フェアでの呼びかけなどで新規就農を考えている方にアンケート調査を行った結果を報告されました。思い描く酪農像では、低投入で生活にゆとりがあると回答された方が圧倒的に多く、希望する飼養環境は放牧、飼養頭数は50頭くらいで1頭当たり6500kgの生産量が理想のようです。



帯広畜産大学 瀬尾講師



枝幸町役場 高橋主査



JA宗谷南 加藤課長

また、就農する地域に求めるものは、「一番多い回答が、「豊かな自然環境」であり次に多いのは「生活の利便性」で、学校などが近くにある事を望んでいるようです。また、色々なJAのホームページによる新規就農のページを紹介され、ホームページの充実のアドバイスなども受け講演を終りました。

続いて、枝幸町役場とJA宗谷南の新規就農者に対する支援やサポート体制の説明終了後、新規就農者の報告として、歌登地区の筒井奈美さんと廣川拓也さんに就農後の生活ぶりや、地域との交流について、また失敗談や成功例を交え就農希望者へアドバイスを送りました。



筒井奈美さんの報告



廣川拓也さんの報告

廣川牧場



牧場視察



筒井牧場

その後、吉野教授、瀬尾講師、筒井さん、廣川さん、枝幸町役場高橋主査、JA宗谷南若山部長によるパネルディスカッションを行い、昼食後、筒井牧場と廣川牧場の視察へ向かい、実際に牛舎の中で、より一層深い話や、様々な質問に対しての詳しい説明があり、これから新規就農される方の一助となれば幸いに思い、第2回枝幸町新規就農者誘致促進セミナーを終了しました。



2日目のパネルディスカッションの様子



枝幸町乳牛共進会

8月3日、第9回枝幸町乳牛共進会が開催されました。審査員に酪農学園大学の長濱愛さんを招き審査がスタートしました。

年々出品頭数が少なくなってきた中、今年は26頭が出品され、日頃の改良の成果を競い合いました。経産の部では澤田和人さん出品の「JCLデシードシャーレティ」号、未経産の部では小椋義則さん出品の「TMFホンマエミールチップマートン」号が最高位賞に輝きました。各部の結果は以下の通りとなっております。

出品された皆様には、これからの全国共進会を目指して更に乳牛達に磨きをかけて頑張ってください。



第9回枝幸町乳牛共進会結果(各部1位)		
	名 号	出 品 者
1部	ニシキ スパークリング チャーチエル キヤロライン	赤坂 一弘
2部	オムラ ホルドア	小椋 義則
3部	マドニア クリス アルティユード ステラ	赤坂 一弘
4部	TMF ホンマ エミールチップ マートン	小椋 義則
5部	ハービーユー ウインドブルック シマー	寺前 吉幸
6部	ハツビライン アメイジング エッセ	内田 喜久男
7部	ウインターレース AW バレンタイン ミッシー	小椋 義則
8部	JC ルデシード シャーレティ	澤田 和人
9部	オムラ トヌーブ アイオン	小椋 義則
10部	JC ハイ ホルタン バンビ	澤田 和人
経産の部		
最高位賞	JC ルデシード シャーレティ	澤田 和人
準最高位賞	JC ハイ ホルタン バンビ	澤田 和人
未経産の部		
最高位賞	TMF ホンマ エミールチップ マートン	小椋 義則
準最高位賞	ハツビライン アメイジング エッセ	内田 喜久男



宗谷南農協青年部 宗青協スポーツ交流会 in 枝幸



開催挨拶を行う関口宗青協会長



白熱した試合となりました。



アームレスリングは眞壁哲也さんが参戦しました。



お昼の会場は北幸公園焼肉ハウスです。



優勝は中頓別農協青年部です。

今年の宗青協スポーツ交流会の会場は枝幸町・総合体育館。管内より総勢40名近くの盟友が集まりました。また、今年から始めました、青年部・4Hクラブ合同活動の一環として、4Hクラブの会員の方にもご参加頂きました。

種目は例年通り単組対抗フットサルとアームレスリング地区予選を行いました。参加チームは稚内・北宗谷・ひがし宗谷・中頓別・宗谷南区予選も中頓別代表者が突破しました。

スポーツの後は焼肉を食べながらの交流会で、久しぶりの農家仲間同士、会話も弾み、食も進んでいたようでした。

今回のスポーツ交流会は当青年部にとって、大掛かりなイベントとなりましたが、各盟友や4Hクラブの協力により、無事に終了しました。



体型審査について

その2

◆線形形質

前回に引き続き、体型審査について説明したいと思います。

線形形質は、高さ、胸の幅、尻の角度といった16の国際標準形質と6の調査形質のついで159のスコアにより連続的評価ができ、それぞれが客観的に評価されています。



◆線形形質評価法

体型得点形質の採点とは異なり、線形形質評価法のスコアはその形質の「程度」を客観的に決定することであって、「望ましいか、否か」を主観的に決めるものではありません。

線形形質審査の評価データを集計・分析することによって、種雄牛の遺伝的特長を各形質ごとに把握することが可能になります。その結果、ある雌牛が「後乳房の高さが「低い」と評価された場合、後継牛を取するための交配種雄牛には「後乳房の高さ」を「高くする」ものの中から選ぶことができるなど個々の雌牛の長所と短所の把握ができることにより交配計画が容易になります。

体型審査

体型得点形質の採点

- ・乳牛らしい体型を把握する形質
- ・決定得点が得られる

線形形質評価

- ・詳細な体型的特長を把握
- ・交配計画の指標になる

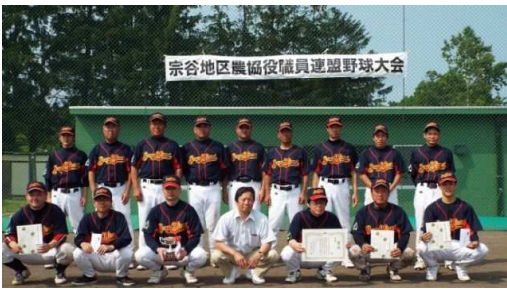
◆審査

審査は日本ホルスタイン登録協会の審査委員が担当し、ハンディパソコンを用いて、各個体の体型について得点評価と線形評価を行います。審査後は、その場で審査結果を打ち出し、審査結果の説明や交配、飼養管理等のアドバイスを行います。これらの審査結果は自動的に審査成績証明されるとともに、血統、能力のデータと合わせて種雄牛および雌牛の遺伝評価分析に利用され、遺伝情報として酪農家にフィードバックされます。

体型審査について2回に分けてやっていきましたが、如何だったでしょうか。

これらの情報は、日本ホルスタイン登録協会のホームページなどにも詳しく載っていますので、興味を持たれた方はそちらの方も一緒にご覧ください。

JA職員野球大会 宗谷地区予選



最優秀賞 松本祐斗 (JA宗谷南)
 優秀賞 藤原魁晟 (JA宗谷南)
 優秀賞 鈴木研也 (JA稚内)
 ベストプレー賞 滝口直也 (JA宗谷南)

7月19日、宗谷地区JA役員連盟野球大会が歌登球場で行われました。
 JA稚内、JA北宗谷、JA宗谷南の3チームが猛暑の中、力戦奮闘しました。
 1試合目はJA稚内とJA北宗谷が対戦し3-2でJA稚内が勝利しました。決勝戦では、JA稚内とJA宗谷南の対戦で、今回は枝幸町での大会という事もあり、手伝いも含め多くの方が応援に駆け付けてくれた事や、暑さと疲労が重なりJA稚内には、初戦の動きが見れず、先発のエース藤原投手の力投もあり、1-12でJA宗谷南が快勝し、見事に全道JA職員野球大会の切符を手に入れました。全道JA野球大会は、9月に開催され、それまでに更に練習を積み、初戦突破を狙います。

枝幸町商工会納涼仮装盆踊り大会



8月14日、枝幸町商工会納涼仮装盆踊りに参加しました。若手職員が中心となり「ドラゴンボールZ」のキャラクターに仮装し仮装盆踊りを盛り上げました。
 今回で4回目の参加となりますが、初めて2位の快挙を頂き、大いに盛り上がりました。来年は優勝を狙い今から思案中です。仮装盆踊りを通じ団結力を高め、仕事に役立てていきたいと思っておりますので応援の程宜しくお願い致します。
 来年はどのキャラクターに扮装するか楽しみにしててください。



左から、松永課長・飯田達也・成田圭吾

左から、野澤隼希、伊藤太良、今家課長、浦谷正憲

歌登サマーフェスタ

J A宗谷南とJ A青年部で歌登サマーフェスタに参加し、牛乳・乳製品消費拡大のPRを行いました。

今年は、4 Hクラブにも協力をして頂き、牛乳の無料配布や酪農に関するグッズを配布しました。次回の牛乳無料配布は10月のよくばりフェスタで行いますので、皆様ぜひお越しください。
みるきいちゃんも待つてまーす。



次はよくばりフェスタで(^_^)/~



牛乳無料配布に勤しむみるきいちゃん



盆踊りにも参加しました

公共育成牧場牧草収穫



7月10日～12日で育成牧場の牧草収穫（バンカーサイロ）が行われ職員が応援に駆けつけました。
3日間とも快晴となりましたが、10日、11日は風が強く作業が難航しました。牧草自体は程よく予乾され、牧草の質としては良い物が出来るのではと期待しています。3日間でバンカー3本、ダンブでおよそ300台近くの牧草を詰め無事に収穫作業は終了しました。



編集委員

浦高森滝川伊村
谷本川口合藤田
正等忠直直太
憲 幸也樹良